

人口のうごき

50・2・1現在

世帯数 1,513

男 2,260

女 2,625

総計 4,885

広報たし3

田代町企画課編集 毎月5日 1580部発行

No. 261

昭和50年

3月号



やったぞ!!

町青年団チーム

郡青年団駅伝大会で二連勝

第七回、郡青年団駅伝大会は去る二月一六日、各町青年団六チームと、田代中、根占中の二チームが特別参加して開催されました。

田代町農協前をスタート、花ノ木ノ根占ノ大根占ノ神ノ川ノ皆倉峠ノ坂元ノ大始良ノ南ノ吾平ノ高山ノ下小原ノ決勝点東串良までの十二区間で争われましたが、町青年団は、二位に約一分の差をつけ二時間五九分四四秒で昨年に引続いて優勝し、町青年団の意気盛んな所を郡内に示しました。

三月のこよみ

7日(金)	社会教育委員会	21日(金)	春分の日
町養蚕振興大会		22日(土)	小学校卒業式
10日(月)	教育委員会、町誌編さん委員会	26日(水)	農業委員会
11日(火)	民生委員会	保育園卒園式	
13日(木)	地域振興審議会	四月三日	
17日(月)	年金相談(17・18)	花瀬公園祭り	
18日(火)	中学校卒業式		

新大隅開発計画の 骨子発表

町民の素直な意見を期待

大隅地域を開発し、物心共に豊かな地域にするため県は去る昭和四十六年に、大隅開発計画一次試案を発表しましたが、志布志湾沿岸地域の住民の合意が得られず、一次試案は棚上げの状態になっていました。

しかしながら、大隅地域の二市一七町では、このまま放置すると地域は窮乏の一途をたどるだけであるとの判断から、自然と調和し人間を尊重した開発を速やかに実施して欲しいとの提言を行ない、県はその提言に基いて、二次試案の骨子になる「新大隅開発の方向について」を去る二月十七日に発表しました。

作成の趣旨

大隅地域二市一七町の提言を尊重し①総合的に調和のとれた住民福祉の向上へ総合福祉 ②自然の適切な保護と公害の未然防止（環境保全）③農業をはじめ地域産業の重点的振興と住民福祉に必要な範囲での新産業の開発（地域主体）④開発効果を地域内に広く及ぼす（効果均展）の四点に留意して、基本的な考え方をまとめた。尚計画期間は十五年が予定されています。

基本的な考え方

大隅地域は豊かな自然環境に恵まれているが、経済力が弱く生活環境も不備なため、若者の県外流出が多く県下でも有数の過疎地域となっている。しかしながら、大隅地域は広大な土地資源とすぐれた土地条件を備え、これを生かして開発を進めると発展の可能性

がある。

したがって、自然環境を生かし農業等の地場産業を振興するとともに、新たな産業を導入して働く機会を作り、生活環境、教育施設、交通等の総合的な整備をはかり「緑に包まれた、活力のある幸せな地域社会づくり」を進める。

また、計画作成から開発を進める場合においては、①地域住民の意見の反映に努め、各市町の振興計画との連携をはかる。

②公害の未然防止に万全を期すると共に、各段階ごとに環境事然評価を行ないこれに基いて適切な対策を講じながら開発をすすめる。

③自然環境保全、農業をはじめ、地域産業の振興、生活環境の整備を先行し工業開発は段階的に行なう。

④適正な土地利用をすすめて乱開発を防止するとされています。

環境保全、産業、社会環境、交通の四つの部門について記されていますが、その内、本町に関係のある点だけを拾ってみると次のようになっています。

環境保全
稲尾岳の照葉樹林は厳正

に保全する。

南部の生産団地を貫き佐多へ至る（本町経由）広域営農団地農道を建設する。

観光

牧ノ原から佐多に至る（本町経由）大隅自然歩道沿いにサイクリングロードを整備する。花嶺は地区住民を中心としたレクリエーションの場として整備する。

交通

牧ノ原を経て佐多まで、（本町経由）縦貫すると共に、志布志湾臨海部とも結ぶ大隅縦貫道を建設する。

以上が本町に関連のある主な施策ですが、問題の志布志湾臨海工業については次のとおり述べてあります。

工業開発は、安全率を見込んだ地域の環境容量の範囲内で、しかも必要な範囲内の規模に止めることとして予定されている業種は、食品加工、木材及び住宅、石油貯蔵施設、石油精製、造船、機械金属、流通関連工業とされています。

むすび

この骨子は初めに記したように、二次試案を作成するためのタタキ台であり、すでに皆様方の御家庭に配られていると思います。

今後、この骨子にどのような肉付けをしていくか。

又、田代町としてはどのように対処して行くべきかについて町民皆で考えなければなりません。遠慮なく御意見をお聞かせくださることを心から待ち望んでいます。

これらの御意見は、文書または電話で、役場の企画室宛御連絡ください。

山の魚マスを

食卓に

昨年本町でもニジマスの養殖が始まり、成育も順調です。

今までなじみのうすい魚でしたが、カロリーは牛乳の3倍、味は淡泊、病後

食に、肥満予防、美容食に効果があります。

マスの食べ方ですが、もっと日常の食卓に取り入れてもらおうと先般、料理講習会が催されました。

今月号から一品を取り上げて掲載しますので参考にしてください。

◎あらひ
材料
鮮度の良い大きいものを選ぶ

作り方
(1)三枚におろし、皮を引き小骨を抜いてから尾の方よりそぎ作りにする。

(2)氷水で(1)をさっと洗って水気を切り盛りつける。

「注」
余り長く洗うと味がぬけてしまう。



昭和50年度

町民税の申告相談日

50年度の町民税・県民税の申告相談日が下記のとおり決まりました。申告を必要とする方は、決まった日割によって申告をして下さい。

所得税の申告をされる方は、申告の必要はありません。もしこの申告を怠りますと、各種控除が受けられない等不利になります。

○申告をしなればならない人
一、50年1月1日現在で田

代町に住所のある人
二、町外の人で町内に事務所、事業所等を有する人（法人を含む）

○申告上の注意

一、扶養親族の氏名、生年月日等を定め記入してください。
二、耕地は地目、字地番、地積等を調べて記入して下さい。
三、当日は必ず印かんを持参ください。

※固定資産税課税台帳の縦覧を

土地、家屋などの課税について疑問のある人は、台帳の縦覧をおすすめします。

縦覧の期間は、3月1日から3月20日まで。

縦覧の場所は、役場の税務課です。

※単車、軽自動車の廃車は 3月20日までに

軽自動車税の納期は4月です。廃車・解体・廃棄される場合はナンバーを税務課に返納しないと消滅しません。

また、車の所有の移動も届出なければそのまま課税されます。このような人は3月20までにお申出ください。

町・県民税申告相談日程表

月 日	午前（9時30分から11時まで）		午後（1時30分から3時30分まで）	
	場 所	部 落	場 所	部 落
3月 4日（火）	下 公民館	下	馬 場公民館	馬 場 東ノ原
5日（水）	長 谷 "	長 谷	西中部 "	西中郡
6日（木）	東中郡 "	東中郡	橋ノ口 "	橋ノ口
7日（金）	中 村 "	中 村	山 下 "	山 下
10日（月）	岩 崎 "	岩 崎	表 木 "	表 木
11日（火）	折小野 "	折小野	山ノ口 "	山ノ口
12日（水）	新 田 "	新 田	内ノ牧 "	内ノ牧 重 岳
13日（木）	中 尾 "	中 尾	久木野 "	久木野
14日（金）	東大原 "	東大原	西大原 "	西大原
17日（月）	鵜戸野 "	鵜戸野	盤 山事務所	盤 山 富 田
18日（火）	原 沢 "	原 沢	池 野公民館	池 野
19日（水）	瀬戸口 "	瀬戸口	猪鹿倉 "	猪鹿倉
20日（金）	鳥 淵 "	鳥 淵	早 瀬 "	早 瀬
24日（月）	郷ノ原 "	郷ノ原	上 原 "	上 原
25日（火）	辺志切 "	辺志切	鶴 園 "	鶴 園
26日（水）	上柴立 "	上柴立	柴 立 "	柴 立
27日（木）	平 石 "	平 石		

正しい申告をして
公正な課税ができるよう
お願いします。

二級障害福祉 年金の申請は 早目に

昭和四十八年の年金法改正により、四十九年度から二級障害者に対しても年金が支給されることになりましたが、申請者が予想外に少ないとのことです。

二級障害福祉年金は、身体障害者手帳を持っており二級障害に該当する人で、次の方が該当します。

(1)明治四十四年四月一日までに生れた人

(2)昭和三十四年四月一日以前から障害者であった人。

又は、二十歳に達する以前に、負傷や病気で医者ににかかった人、該当者は役場民生課の年金係に、次の書類を添えて手続してください。

(イ)住民票抄本

(ロ)所得状況届（役場にありませう）

(ハ)診断書（役場にありませう）

(ニ)身体障害者手帳（印かん）



振興大会
盛大に終る

町振興大会は、去る二月二十五日、田代小体育館で開催されました。

二日続きの大雪から雨に
変わりあいにくの天気では
したが、多数の町民が参加し
大変盛会でした。

講師、北原三男先生の「だれにでもできる福祉」という講演で、自からの努力と値打のある金使いなど福祉についておもしろく説明されました。

また、大会の当日は、野菜品評会が行なわれ好評を得ました。尚本年度の各種部門で表彰された方は次のとおりです。



昭和49年項目別褒賞一覽表

項 目		部 類	該 当 者 及 び 該 当 部 位									
功 勞 賞		地 方 自 治	鶴 園 末 吉									
"		教 育 文 化	大原小学校									
特 別 賞			原 順 故 荒 木 秋 由									
奨 励 賞	納 税	団 体 の 部	馬 場 東ノ原 東中郡 橋ノ口 岩 崎 久木野									
	産	たばこ	10a 当り販売額	1位	鶴 園 満	2位	袖 山 勝 八	3位	瀬ノ口 栄			
		総 販 売 額	1位	近 川 兼 盛	2位	瀬ノ口 栄	3位	早 瀬 辰 二				
		緑茶	10a 当り販売額	1位	町 精之進	2位	森 徳 一	3位	有 馬 功			
		総 販 売 額	1位	坂 口 国 夫	2位	田 畑 一 男	3位	上 田 友 郎				
		養蚕	10a 当り販売額	1位	平 原 秀 美	2位	尾ノ後 章	3位	折小野 静 美			
		総 販 売 額	1位	折小野 静 美	2位	窪 義 興	3位	田 尻 実 義				
		畜産	肉 用 牛 生 産 (子 牛)	山 口 計 佐 吉 郷 原 盛 雄 護 白 久 桃 保 進 夫								
			肉 用 牛 5 連 産	上吹越 清 香 白 桃 イツ子								
	肉 用 牛 10 産 (子 牛)		前ノ園 一 郎 貫 見 徹 郎 山 口 計 佐 吉 平 原 留 吉 弥 夫									
年間販売額最高	辺 志 切 清 文											
ブロイラー年間販売額最高	川 路 秀 吉											
業	産 米 出 荷 (早 期 米)	個 人	田 尻 吉 静 雄 夫 上 八 重 勇 吉 子 山 元 砂 雄 川 前 清 隆									
			猪鹿倉 豊 川 路 ミ 秀 子 川 志 切 誠 昇 川 前 田 伊 蔵									
			松崎 充 川 路 武 久 岩 下 正 義 大 浦 地 文 雄									
	加工業者(早期)	川 路 甫 川 前 卓 郎										
賞	森 保 林 育	個 人	前之園 敬一郎									
		団 体	柴立愛林グループ									

きもつき苑が完成
大隅中部火葬場

鹿屋市と肝付郡九町の太隅中部火葬場組合が建設を進めていた共同火葬場が、下高隈町山ケ野に49年12月10日完成し、名称も「きもつき苑」ときまり、3月から事業をはじめます。

なお「きもつき苑」の使用料は次のとおりです。

その他	小 13歳 以下 人	大 13歳 以上 人	区 分
五〇〇〇円	七〇〇円	一〇〇〇円	住 関 係市 町村 民
二〇〇〇円	三五〇〇円	五〇〇〇円	住 他 市 町 民村

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません